

法規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法

規

〔1〕 航空機局を開設しようとする者は、総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。）にどのようにしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. その旨を報告する。
2. その旨を届け出る。
3. その旨の免許申請をする。
4. その旨を登録する。

〔2〕 次の文は、ATCトランスポンダが、その航空機の航行中における通常の状態において合致しなければならない条件に関する無線設備規則の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「 からの質問信号を受信することによつて、応答信号を自動的（特別位置識別パルスにあつては、手動により発射が開始されるものとする。）に送信することとなるものであること。」

- | | |
|--------|--------|
| 1. タカン | 2. SSR |
| 3. ILS | 4. VOR |

〔3〕 無線従事者が免許証を失って再交付を受けた後、失った免許証を発見したときは、発見した日から何日以内にその免許証を返納しなければならないか、次のうちから選べ。

- | | |
|--------|--------|
| 1. 7日 | 2. 10日 |
| 3. 14日 | 4. 30日 |

〔4〕 免許人（包括免許人を除く。）が不正な手段により空中線電力の指定の変更を行わせたとき、総務大臣から受けることがある処分は、次のどれか。

1. 運用の停止
2. 周波数又は空中線電力の制限
3. 運用許容時間の制限
4. 免許の取消し

〔5〕 総務大臣は、電波法の施行を確保するために必要がある場合において、無線局に電波の発射を命じて行ふ検査では、何を検査するか、次のうちから選べ。

1. 発射する電波の質又は空中線電力
2. 送信装置の電源の変動率
3. 他の無線局の通信に与える混信の程度
4. 無線従事者の無線設備の操作の技能

〔6〕 次の文は、時計、業務書類等の備付けに関する電波法の規定であるが、 内に入れるべき字句を下下の番号から選べ。

「無線局には、正確な時計及び、無線業務日誌その他総務省令で定める書類を備え付けておかなければならない。」

1. 免許人の氏名又は名称を証する書類
2. 免許証
3. 無線検査簿
4. 明解な無線機器仕様書

法 規

〔7〕 次の記述は、航空移動業務の無線電話通信における呼出事項を無線局運用規則の規定に沿って掲げたものであるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

- ① 相手局の呼出符号 3回以下
② 自局の呼出符号

1. 1回
2. 2回
3. 2回以下
4. 3回以下

〔8〕 航空移動業務におけるノータムに関する通信の優先順位について、無線局運用規則にはどのように定められているか、次のうちから正しいものを選べ。

1. 緊急の度に応じ、遭難通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。
2. 航空方式に関する事項の場合は、無線方向探知に関する通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。
3. 航空機の安全運航に関する通信に次ぐ順位としなければならない。
4. 緊急の度に応じ、緊急通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。

〔9〕 免許人（包括免許人を除く。）は、除外規定がある場合を除き、無線局の免許を受けた日から起算してどれほどの期間内に、また、その後その免許の日に対応する日（対応する日がない場合は、その翌日）から起算してどれほどの期間内に電波法に定める電波利用料を国に納めなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 10日
2. 30日
3. 1箇月
4. 3箇月

〔10〕 無線電話による自局に対する呼出しを受信した場合において、呼出局の呼出符号が不確実であるときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 応答事項のうち相手局の呼出符号の代わりに「誰かこちらを呼びましたか」を使用して、直ちに応答する。
2. 応答事項のうち相手局の呼出符号の代わりに「貴局名は何ですか」を使用して、直ちに応答する。
3. 応答事項のうち相手局の呼出符号を省略して、直ちに応答する。
4. 呼出局の呼出符号が確実に判明するまで応答しない。

〔11〕 次の事項は、遭難航空機局が遭難通報を送信する場合の送信事項を示したものである。無線局運用規則の規定に照らしこれに該当しないものはどれか。

1. 遭難した航空機の識別又は遭難航空機局の呼出符号若しくは呼出名称
2. 遭難した航空機の乗員の氏名
3. 遭難した航空機の位置、高度及び針路
4. 遭難の種類及び遭難した航空機の機長のとらうとする措置

〔12〕 無線局が無線電話の機器の試験中、しばしば自局の発射しようとする電波の周波数その他必要と認める電波の周波数により聴守を行わなければならないのは、何を確かめるためか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 受信機が最良の感度に調整されているかどうか。
2. 「本日は、晴天なり」の連続及び自局の呼出名称の送信が10秒間を超えていないかどうか。
3. 他の無線局から停止の要求がないかどうか。
4. その電波の周波数の偏差が許容値を超えていないかどうか。